

# 令和6年度 調査研究報告書

自治会・町内会活動における  
デジタル化の取り組みアンケート

浜北地域自治会連合会

調査研究委員会

# 調査の概要

## 自治会・町内会活動におけるデジタル化の取り組みアンケート

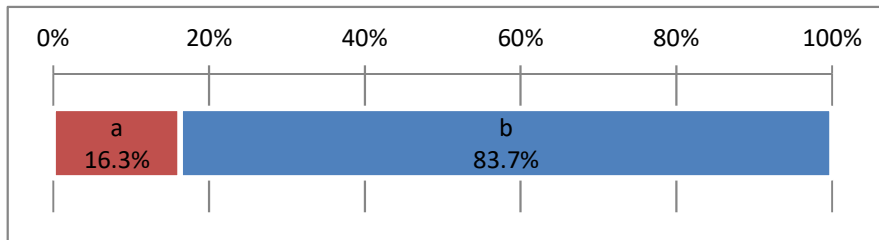
- (1) 目的  
自治会・町内会活動におけるデジタル化の取り組みについて調査し、活動の参考にするもの。
- (2) 調査対象  
浜北地域内の67自治会、57町内会
- (3) 調査時期  
令和6年8月15日から令和6年9月5日まで
- (4) 調査方法  
各自治会長へ郵送
- (5) 回収方法  
浜北地域自治会連合会事務局に持参、郵送またはFAX
- (6) 回収結果  
104自治会・町内会

# 自治会・町内会活動におけるデジタル化の取り組みアンケート

## 1 回覧物の電子化は実施していますか？

- a 実施している
- b 実施していない

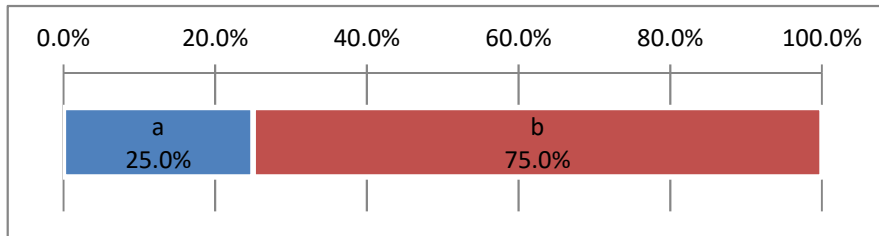
選択肢	回答数
a	17
b	87



## 電子化の実施範囲

- a 自治会（町内会）全体で実施している
- b 一部の班、関連団体だけで実施している

選択肢	回答数
a	4
b	12



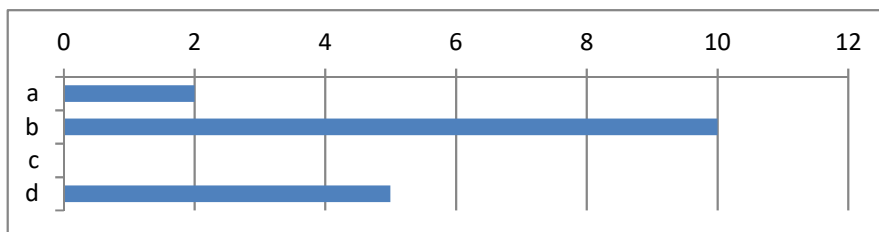
## bの具体的内容

8班中3班程度が実施。/14班、18班。/役員、班長、女性部、一部の班。/3~4班で実施。/スマホ使用している方のみ。/三役間。/1つの班があると聞いた（ラインを使用）。/班内の2分の1（若者のグループ）。

## 電子化の方法

- a 電子メールで一斉送信
- b LINEのオープンチャットに掲載する
- c ホームページ・掲示板等に掲示する
- d その他

選択肢	回答数
a	2
b	10
c	0
d	5



### dの具体的内容

自治会は14班・19班の班長にライン。14班班長は印刷して回覧。19班は班長から全員にライン。/LINEグループによる。/町内の皆様をお願いしたい内容をパソコンで作成し、プリントアウトする。/グループライン。/グループライン。

### 電子データを読めない人への対応

紙文書と併用している。/14班は印刷し回覧。19班は全員が読める。/直接回覧する。班長が持参。/必要な場合は案内文書で配布。/紙コピーを至急配布。/並行して紙で回覧している。/直接又はTELによる個別対応。/紙。

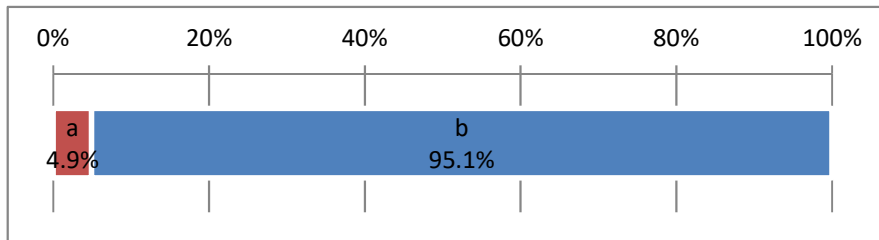
### 他地域の実施例

「公式LINE」を開設し、従来のアナログ回覧に加え、デジタル式の回覧も可能にしている。/電子回覧板サービス「eメッセージ回覧板」を導入。利用率が7割程度になったため、実物の回覧も手間が軽減し、迅速化された。/LINE回覧を導入したが、利用率が3分の1程度に留まっている。利用率の向上が課題。

## 2 会議資料の電子化は実施していますか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	5
b	97



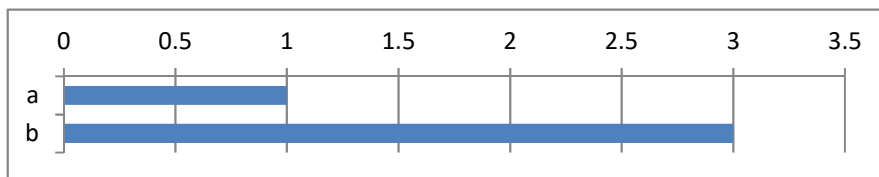
### 電子化の方法

班長会等会議資料の事前共有、実績資料としてクラウド保存。/パソコンにて作成している。/会長のみ、必要であれば通達。/PDFで事前案内。/一部グループ内でLINE使用。

### 配布の方法

- a 会議場でダウンロード
- b 事前に電子メールで送信

選択肢	回答数
a	1
b	3



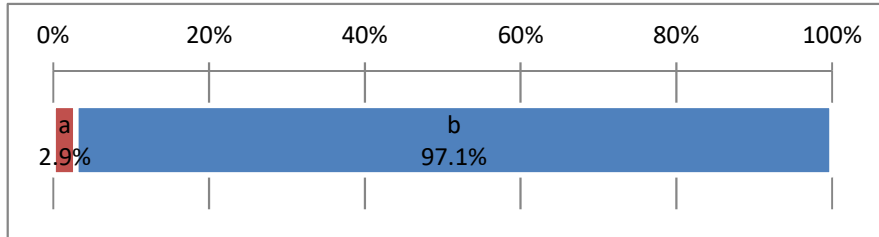
### 電子データを読めない人への対応

自治会三役間のみで利用。

### 3 ホームページは設置していますか?

- a 実施している
- b 実施していない

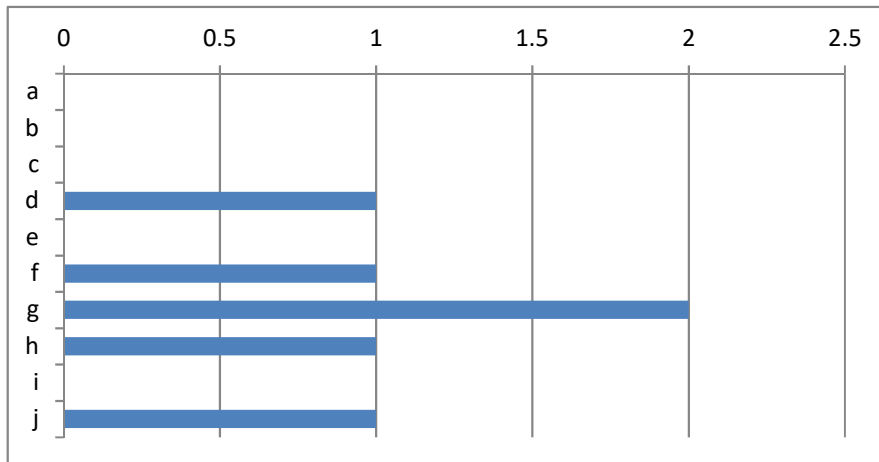
選択肢	回答数
a	3
b	100



### コンテンツの種類

- a 市広報
- b 回覧物
- c 訃報
- d イベントの開催案内
- e イベントの結果報告
- f 予算、決算報告
- g 事業計画、事業報告
- h 会議室利用予約
- i イベントの参加予約、出欠確認
- j その他

選択肢	回答数
a	0
b	0
c	0
d	1
e	0
f	1
g	2
h	1
i	0
j	1



### jの具体的内容

郷土の歴史・写真、お知らせ、ゴミ他案内、TVラジオ報道画像他。

### 実施の方法

回覧等で該当データへのアクセスアドレスQRコードを開示。/草とりなどの実施可否に使用。/有志の方がコンテンツ作成、更新を行っている。

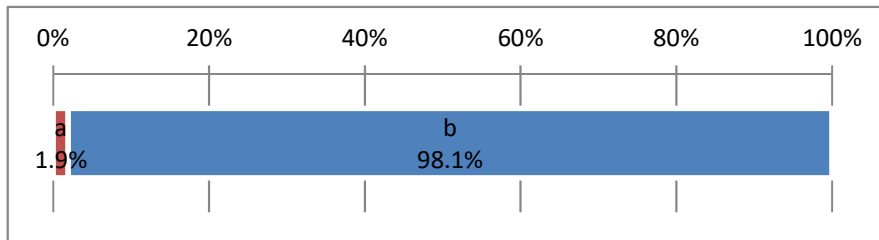
### 他地域の実施例

区民協働交流センターのホームページの中に自治会のホームページを費用負担なく作成することができる。区職員のサポートを受けて作成した。その後の情報の更新は自分たちで行わなければならない、苦勞している。

#### 4 電子会議は実施していますか?

- a 実施している
- b 実施していない

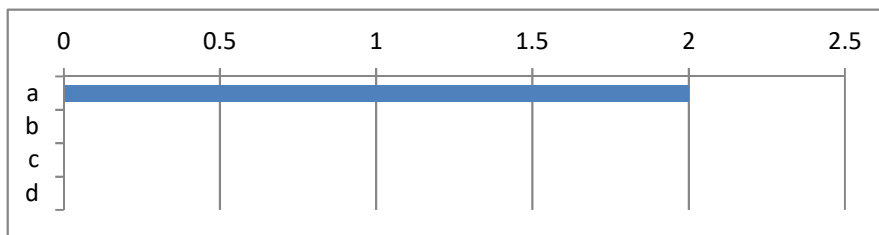
選択肢	回答数
a	2
b	101



#### 電子化した会議

- a 役員会議
- b 班長会
- c 総会
- d その他

選択肢	回答数
a	2
b	0
c	0
d	0



#### dの具体的な内容

#### 実施の方法

月1回の役員会で話せなかった事はLINE WORKSで対応。/ライングループで情報交換や協議など。

#### 電子会議に参加できない人への対応

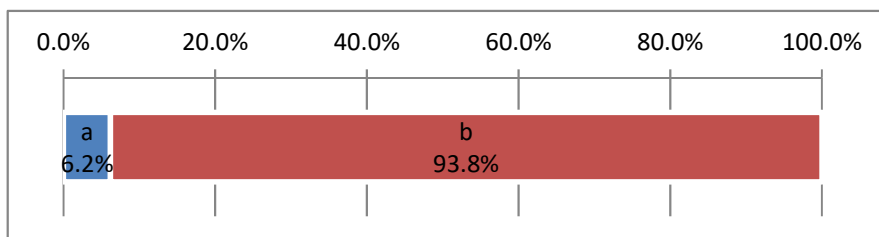
#### 他地域の実施例

班長会をリモートで実施。リモートが使えない人には会議室に集まってもらう。通常の会議室の準備にリモートの準備が加わるため、手間が増えるが、出席者が減るので、会議室の密が軽減される。

5 公民館等の施設の利用予約は電子的に行っていますか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	6
b	91



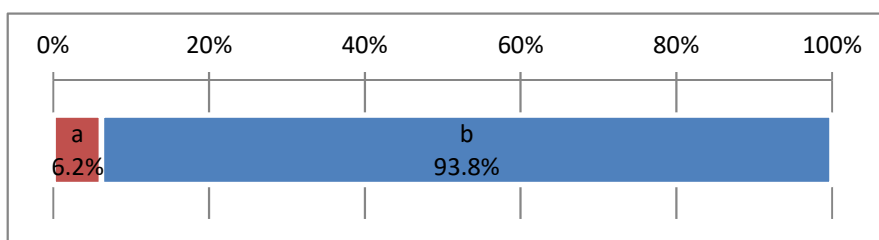
実施の方法

グーグルのカレンダー機能を利用。/各町内会長がLINE WORKSの予定に登録する。/一部ラインやメールで連絡。/子ども会との間で予約サイトを立ち上げて管理している。/パソコンに入力。/「LINE」にてその都度使用を申し込む。

6 自治会（町内会）役員間の連絡、調整は電子的に行っていますか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	6
b	91



実施の方法

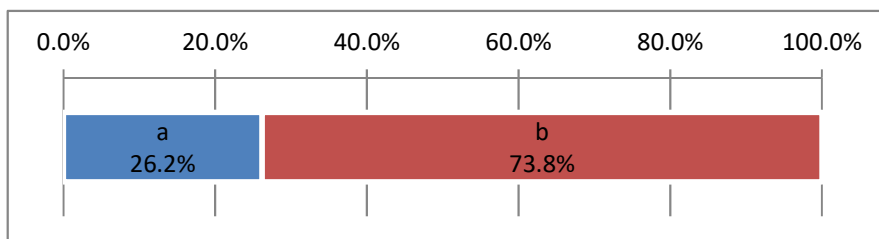
役員・班長会、防災委員会の連絡。/緊急時及び確認の連絡。/LINE、SMS。/役員・班長・若連・子ども会・婦人部の各団体ごとにライングループを作成し連絡しています。/LINEを使って。/LINE。/三役・子供会と三役ラインでグループを作っている。/ライン。/LINEを用いて連絡。/役員間のライン連絡。/自治会三役にGmailアドレスが割り当てられており電子メールで連絡。/ラインで実施。/ライン。/LINE WORKS。/LINEグループの活用。/ライン。/ライン。/役員・班長の連絡をラインで実施。/主にLINEアプリを活用。/ライン。/LINEを活用。/スマホ、ライン。/ラインを使用。/LINEを活用している。/LINEでやりとり。/LINE。/グループLINEの利用。/ライングループにて。/LINE又はメール。/LINE。Eメール。一部携帯電話のメールを利用。/LINE。/事務連絡のみ。/LINE利用。/ライングループを作り、打合せ、資料共有。/ライン、メール。/ライン、TEL。/LINE。/一部ラインを活用。/「LINE」及び「E-mail」にて。/LINEで連絡。/ライン。/LINE。/三役でライングループを作ってやっている。/一部携帯電話のメール等。/ライン。/LINE、SMSを利用している。/LINEを活用。/LINEにて行っている。/ライン。/グループLINE。/グループライン。/LINE。/一部分。役員会等限られたグループ内で。



7 自治会（町内会）役員、班長レベルまでの連絡、調整は電子的に行っていますか？

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	27
b	76



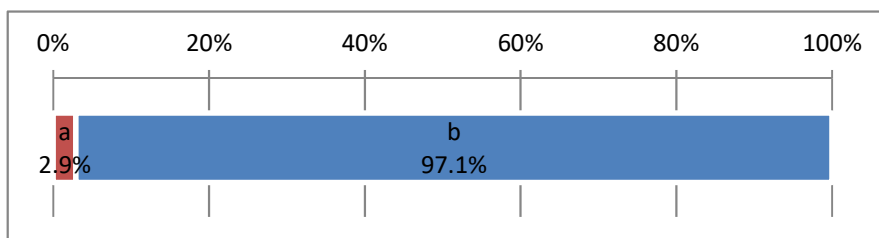
実施の方法

LINE、SMS。/役員・班長・若連・子ども会・婦人部の各団体ごとにライングループを作成し連絡しています。/ラインで行っている。しかし班長レベルは出来ない。/ライン。/役員まで。/役員まで。/ショートメールで実施（本年度は実施）。次年度は不明。/LINEのオープンチャット。/LINEグループの活用を補助的に使用。主は月に1回の面直会議。/ラインで実施。/主にLINEアプリを活用。/ライングループにより。/スマホ。/ラインで班長のみ。/ラインを使用。/LINEを活用している。/ラインチャットにて。/会長・副会長三役のみ。/ライングループに入られる方に連絡。入っていない方には電話。/ライン、TEL。/役員まで。/一部携帯電話のメール等。/役員。/LINE、SMSを利用している。/LINE。

8 自治会（町内会）の全会員対象の連絡、調整は電子的に行っていますか？

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	3
b	99



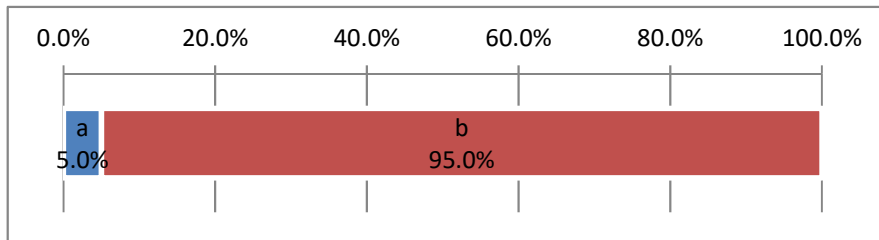
実施の方法

LINE。/メール。/一部役員内で使用。

9 総会の委任状の収集・集計は電子的に行っていますか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	5
b	95



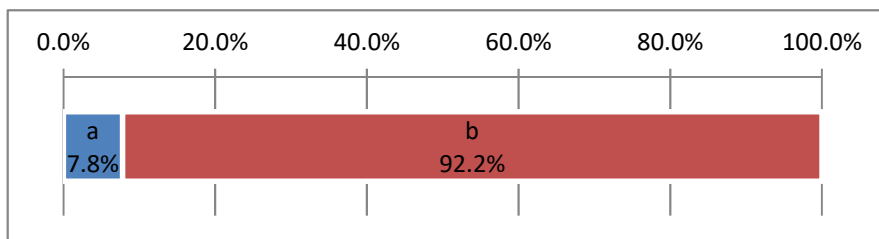
実施の方法

集計のみ、会場にPCを持ち込みExcel計算。/集計のみ。/集計のみ。/集計のみ。/集計。

10 イベント等の出欠確認、中止連絡は電子的に行っていますか?

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	8
b	95



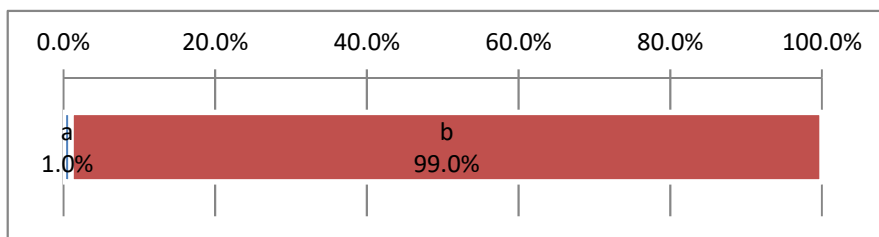
実施の方法

実施、中止の連絡はLINEを用いている。但し、班長14名の内12名。残りは電話連絡。/LINEオープンチャット。/役員・班長間では実施。/中止連絡のみ、サイトを使用して実施。/ラインを使用。/一部ブログにて配信している。/LINE（役員間のみ）。/一部携帯電話のメール等。

11 災害時の安否確認を電子的に行っていますか？

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	1
b	101



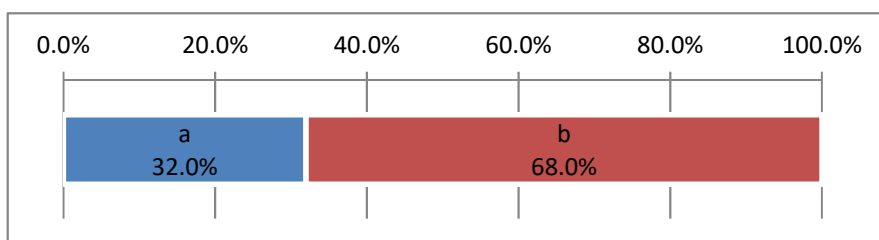
実施の方法

パソコンに入力。

12 世帯台帳はデジタル化していますか？

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	32
b	68



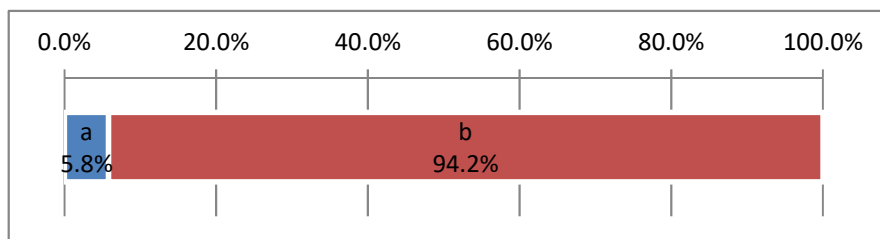
実施の方法

重要事項に付自治会長のみ管理。/Excelの機能を使った電子台帳。/USBメモリにて保管。/エクセルデータにしている。/エクセルファイルで管理。ただし住民の記入は紙で回収している。/パソコンに入力。/暗号化している。/世帯名簿（紙）→エクセル。/パソコンのデータに保管ならびに書類にて保管。/自治会長用PCで管理。/毎年5月、世帯主名簿更新時にPC入力し管理している。/エクセルにて管理。個別には紙の台帳あり。/エクセルにまとめている（ベタ打ち。班単位、世帯員全員分）。班名、生年月日等のキー項目によるデータ抽出は不可。/パソコンに入力。/Excel。/町内会長専用パソコン内ファイルに保存。/パソコン、USBメモリー等。/整備中。/全世帯ではないが、一部はファイル保管。/エクセルデータ化。/年度毎にデータ更新している。/EXCEL。

13 自治会費等の集金の電子決済は実施していますか？

- a 実施している
- b 実施していない

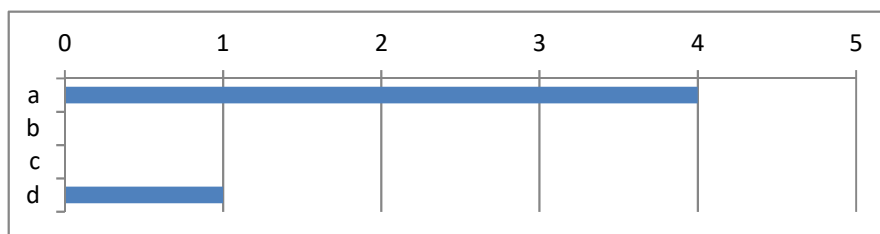
選択肢	回答数
a	6
b	97



実施の方法

- a 銀行振り込み
- b クレジットカード決済
- c キャッシュレス決済（PayPay等）
- d その他

選択肢	回答数
a	4
b	0
c	0
d	1



dの具体的内容

オートロック式マンション（3棟）は管理会社が町内会口座に振り込んでくれている。

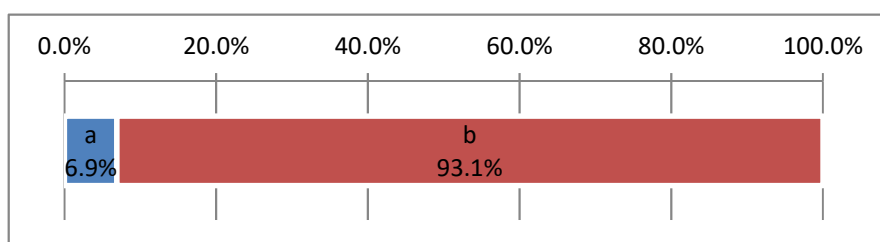
他地域の実施例

町内会費を銀行口座から引き落としで徴収している。/PayPayと連携して町内会費の徴収を行っている。町内会費だけでなく、祭りなどのイベントの中で支払いもPayPayが使えるようにしている。

14 自治会が使っている施設（公民館等）にWiFi環境はありますか？

- a 実施している
- b 実施していない

選択肢	回答数
a	7
b	94



実施の方法

コピー、プリンター利用。/コピー、プリンター利用のみ。/LINE。LINE WORKSの管理者をPCで対応。ネット購入できるようにしている。子供たちYOUTUBEを観る。/コピー、プリンタ。/最近整備したばかり。広い活用はこれから。

15 今までの項目にない内容でデジタル技術を導入していることがありましたらご記入ください。

年度毎に実施される、諸々の自治会行事等の準備資料、記録等はクラウド上の共有フォルダ内に記録されており、必要な過去資料の閲覧、活用が可能。/防災の連絡網をLINEのオープンチャットを使っている。/資料等はUSBにて管理。/14班で構成されているが、1班のみ訃報連絡に「LINE」を使用している（世帯数が18世帯ある為）。/公民館の予約状況をグーグルドライブで、常時、公民館予約担当の町内会長が見られるようにした。

16 デジタル技術を導入した分野でどのような効果があったか、どのような課題が残ったか、について記入してください。

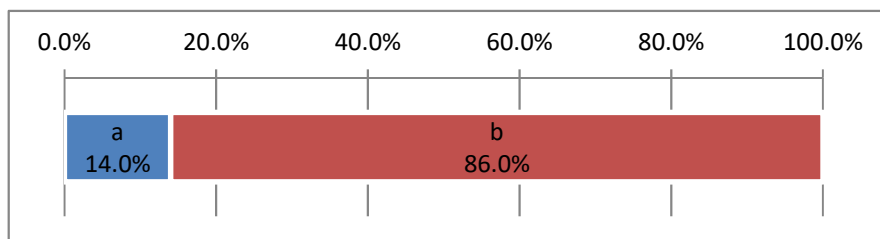
導入内容:効果:課題

各団体とのライングループ化。:連絡等が簡単にでき便利である。様々な質問に答えることが大変である。/一部の班で実験的に実施（14区中10区LINE）。:迅速。アーカイブ。:ハイブリッド対応とメンテナンス人材。/訃報等の緊急連絡。:2つの班は実施している。1つの班は班長全員に流れ効果あり。:もう1つの班は課題あり。ラインのメール受信を印刷し、それを回覧する。/自治会会計帳簿、予算書、決算書にExcelの機能を使って自動化。:会計処理の効率化。間違いの削減。:Excelを使い慣れていない者にとっては、若干敷居が高い。/LINEオープンチャット、LINE WORKS。:連絡がスムーズにできる。紙での配付作業が減った。:全員が入ることができない。一部紙が残る。維持管理の継承。/役員・班長・女性部ラインの活用。:情報の伝達が素早く出来る。情報の共有。:場合によっては全員が確認できない事がある。その時は確認のTELをずる。高齢者だけの世帯ではデジタル化（スマートフォン）の普及がむずかしい。全世帯に普及できる事が将来的に望ましい（緊急避難の誘導など）。/LINEによる連絡。:容易に連絡をとることができる。:高齢者がLINEを使いこなせない時がある。LINEをさけている人が導入をためらう。/町内会WEBサイトの立上げ。:イベントの実施可否を容易に連絡できるようになった。:来年以降の会長が対応できるか不明（サイト作成など）。/世帯台帳のPC管理。:年齢、家族単位（独居者）等の抽出が瞬時に出来る。:個人情報流出等が心配。/ラインを使った連絡網。:連絡が迅速に、時間を問わず、確実に行えるようになった。:スマホを持っていない方がいるので、全員とはならない。/「LINE」での訃報連絡。:連絡が早くなった。:「LINE」登録者のみの通達の為、紙での連絡も実施している。/訃報のLINE対応。:情報を早く伝えられる。班長の負荷軽減。:スマホの未対応者→個別対応が減るので一部実施でも負荷減となった（実施の班長の話し）。/公民館の予約状況をグーグルドライブで、常時、公民館予約担当の町内会長が見られるようにした。:公民館担当がどこにいても、スマホを見れば公民館の予約状況を確認できる。:現在は、予約希望は電話又はメールでうけつけているが、将来的に、利用者がネット予約できるシステムの実用化も考えられるが、それがかえって管理者及び利用者にとってメリットがあるか検討を要する。/自治会役員間での対応が迅速化。:書類届けの減少。:毎年役員が交替する為、都度最初からやらなくてはならない。/ホームページ。:誰でもが見ることができる。最新の情報が見られる。:コンテンツの更新が大変。管理担当者の負担が大きい。/試験的にチームルーム、LINEWORKSの導入を試みた。:チームルームはサービス終了、LINEWORKSは試行中。:サービスの安定性が確保される事が重要。セキュリティ強化のため登録のハードルが高く、できない方が多い。少しずつ使いながら、使いやすさ、安定性、適正など判断したいが情報が少ないため、導入の検討まで至らない。

17 自治会活動に新たにデジタル技術を導入する計画はありますか？

- a ある
- b ない

選択肢	回答数
a	13
b	80



**aの場合の計画**

防災における安否確認。/電話だと工作中とか出られない場合がありますので遅まきながらラインを使用しようと思っております。/検討したい→連絡網、HP。/公民館へのインターネット環境の導入。/自治会役員、班長への連絡会議。/公民館にInternet接続環境を用意する。/電子メール、ラインを使用しての回覧。/今後導入したいと思っている。/公民館でネットカラオケができるようにWiFiを整えたい（安い予算で）。/自治会中心で環境整備。/会議室の予約をデジタル化したい。/公民館WiFi導入（検討中）。

## bの場合の障壁

対応できる世帯が少ない。/パソコンが無いお宅が有る。/自治会役員にITの知識がない為。/高齢世帯が多い中、デジタル化の普及は難しいと考える。今、現状の回覧板でのやり方が確実と考える。/全員にデジタル環境の整備をするのは不可能。/世帯数が少ない(19戸)うえ、高齢化で無理。/当初は、自治会からの情報提供を主眼に置いていたが、質問コーナーになってしまい、自治会役員の負担が増えた。使えないと役員ができない口実となるため。/一部の方がガラケーである。/古い考え方が多い為。/町内会においては高齢者世帯が全体の1/4を占める状況ではデジタル化はむずかしい。/班長が高齢な方がいてSNSが出来ない。/PC、タブレットの扱いが出来ない人の方が多い為。/若い世帯なら対応できるが老人世帯ではできない。/高齢者世帯にインフラが整っていない。/デジタル技術に精通した人員が確保できていない。/全世帯にネットワークPCが普及している状況にはなく、いわゆるデジタル難民の課題が残る。/高齢化が進んでいて対応できるか心配である。できるものはデジタル化していくようにした方がよいと思っています。/高齢者たちが使いこなせない。小さな自治会にメリットはない。/PCやスマホに不慣れな方も多い。又、自治会役員の中にも苦手な方もいる。/まだLINEオープンチャットを使いこなしていないから。/資金及び知識不足の為。/居住区65世帯内、高齢者・外人でしめていて、パソコンを持っている人も1人。無理です。/自治会は1年交代なので必要が無い。個人情報流出。/1.電子データの長所は、転送・配布に手間がかからないことです。しかし、行政からの町内役員への伝達・質問等はすべて紙ベースですので、それを電子データに置換し配布するのは、紙を配布するのと大して手間は変わりません。是非、行政からの伝達・手続きをweb化にしてください。2.今年の町内会の班長とは、偶然にも全員グループラインを組め、伝達は、非常に楽になりました。我が町内会は、長寿化が進み、各家庭とスマホでの一斉連絡は望めません。できるところからやるしかありません(後5年もすればできるか?)。3.公民館のwi-fi化ですが、今の使用状況から見ると、不要と考えています。4.町内会HPは、試作はしましたが、皆さんがアクセスするような内容がありませんので公開していません。/デジタル機器扱いが出来ない。やれない方が多く困難な状況である。/現在小中学校で子供一人一台PCが貸与されている。この子たちが社会に出て活躍するようになればデジタル化は容易だと思います。/高齢者もいる為、全員が参加出来ない。/年齢。知識不足。/ライン等。/高齢者やデジタルに不慣れな住民にはむずかしい。/全ての対象者がデジタル機器を保有していない。使い方に詳しくない。/三役から班長の年代に差がある。長寿会が関係する行事が多い。三役選出にあたり、デジタルに詳しい人に限定される。/全員がデジタルに対応できるわけでない。/自治会員全ての人がデジタルに強い訳でなく、アナログとの狭間で踏み切れないでいる。WiFi導入については意見が上がって来れば検討していく。/他地区での成功事例・導入マニュアルがない。/私個人に関して言えば、在籍した学校および勤務した会社でパソコンさえ必要としない環境であった為、デジタルそのものに疎い為。/メールやライン等ができない人がいるので。/知識がない。/1.老人世帯、アパート世帯入れ替わりが多い。出来る世帯と出来ない世帯が有り、管理が2重となり、かえって大変。2.広報・関連団体(学校・社会福祉)が、紙配布で月数回業務が有り。全部変更になればメリットが有るが、併用では、業務が増す。3.世帯数が多く組織も整っていない。法人化されていない。/役員等の知識不足。デジタル機器の普及環境。費用負担。/今のところ不都合がない。LINEを班長と共有したが使えない人もいる。/利用できる環境にない高齢者世帯があるため。/会員への理解。セキュリティ対策。維持、管理、コスト。/個人差がありフォローできる体制が整っていない為。もう少し時間がかかると思います。/お年よが多い。/デジタル化して合理化したいが、高齢者が多く、また、PCやスマホを持っていない方もいて普及が出来ない。しかし、将来的に企業のように早くIT活用しないと、負担が大きくなる。/個々にかならずPCを有していない。役員及び会員に高齢者が多いため。用意できる経費がない(自治会に)。/過去にチャレンジしましたが失敗、まだ時期尚早だと思います。この課題は、個別の自治会(町内会)で対応するのではなく、自治連又は行政(市民協働)との連携の上で『自治会システム』として対応すべき課題だと思います。【回覧】の対応くらいでしたら、個別でも良いかと思いますが、自治会(町内会)からの諸手続きや諸申請・届出などのシステムは、できるだけ早く手を打たないと、それぞれが個別のシステムを個別の課題について対応することになり、組織的(有機的)なシステムにはならないと思います。自治連としてのご検討とご判断を要望いたします。/デジタル技術の必要性は感じていても、その知識がないので、導入できない。/自治会にそのような準備が出来ていない。/役員の高齢化と情報不足があるのではないかと。/やり方がよく分からない。/管理ができない。/高齢者等が居る為、デジタル化は難しい。/ライン、メールは提案したが賛同をえられなかった(半数ぐらい)。HPはその技術者がいない。WiFiは必要性がないと考える人が多い(公会堂へ)。会議資料の電子化をしても高齢者にとって読みにくく、あつかいにくい。ラインオープンチャットも半数しか賛同をえられなかった。高齢者が多く、パソコン、携帯を使うのが難しい。HPに掲載ですませると見ない人がふえて、連絡がいきとどかない。/町内会役員がデジタル化の技術を持ち合わせていない(役員の高齢化)。高齢化世帯の増加。紙媒体と電子媒体の2本立てが当分間続くと思われるがメリットがあるのか。/自治会会員には、お年寄り世帯もありデジタル技術導入の環境が整っていないと考えている。/実際にデジタル導入されている自治会の具体的なすすめ方、成功例等、今後デジタル化導入にあたり、参考に出来る事例、マニュアル等があれば助かります。/今のところない。役員・班長等、すべての方が活用できる状況になっていない。/年寄りが多い。公会堂が老朽化している(毎年役員が変わる為)。/理解できずに伝わらない人が絶対に出ると。/扱い方が分からない人が多い。役員は高齢者が多い。/ホームページも作成出来ない。技術スタッフがない為。/情報が少なく、検討まで至らないこと。自治連単位で導入事例の公開、共同による導入などサポートが得られれば導入しやすくなる。実際に使用するためには一定期間の使用が必要であるが一定のスキルがないと導入までは困難。